

歴史まちづくり活動 概要シート

情報提供内容	<input type="checkbox"/> 活動グループ紹介(組織紹介) <input checked="" type="checkbox"/> 活動紹介(具体的な活動事例紹介)		
カテゴリー (複数チェック可)	<input type="checkbox"/> 建物単体 <input type="checkbox"/> 地域・まちなみ <input type="checkbox"/> 調査・研究 <input type="checkbox"/> 保存・利活用 <input checked="" type="checkbox"/> 活動・イベント <input type="checkbox"/> 災害復旧 <input type="checkbox"/> その他		
キーワード	#世界遺産 #復元 #ポストトラウマ・リコンストラクション		
ブロック名	建築士会名	支部(地域会)名	
九州沖縄	沖縄県建築士会		
グループ概要			
活動団体名	「文化遺産と復元」実行委員会	連絡先住所	〒901-2101 浦添市西原 1-4-26
代表者名	金城傑	TEL	098-879-7727
シート作成者	向井純子	E-mail	shikai@ryucom.ne.jp
活動開始年	2020年11月	URL	http://shikai.or.jp/
備考	那覇市市制100周年記念事業として開催		
活動名称	「文化遺産と復元ー首里城とパリ・ノートルダム大聖堂ー」企画展とシンポジウム		
<p>●イベント概要</p> <p>2019年に火災被害を受け、それぞれ再建に向けて動いている首里城とパリ・ノートルダム大聖堂に関するイベントを、まちづくり委員の有志で構成する実行委員会を組織し、那覇市の助成金をいただいて実施した。2021年12月14日から、那覇市中心部の会場において一週間の会期で企画展を開催、会期中の土曜日にはシンポジウムを開催した。のべ600名あまりのご来場をいただいた。</p> <p>●企画展</p> <p>県民の関心が高い首里城復元を中心テーマとし、同じく火災被害を受けて復元が進むパリ大聖堂と見比べながら、また、世界遺産の枠組みにおける遺産保全の考え方の変遷と関連付けながら、文化遺産を誠実に復元することの意味や沖縄における文化遺産の重要性を考える契機を供することを企図した。会場には、イコモス名誉会長河野俊行氏監修により本シート作成者及び仏イコモス有志が共同制作したWeb展覧会のコンテンツを中心に、本県出身の芸術家や歴史家、実行委メンバーの寄稿等を展示し、来場者用の掲示板も設置。</p> <p>●シンポジウム</p> <p>3つのテーマについて、パネリストが自由に対話。①これまでの文化遺産保全の国際的なルール作りの中で、被災建築遺産の復元や、人を主役としたアプローチなどがどのように検討されてきたのか、②火災後の人々の想いや行動はなにを示唆するのか、③首里のまちづくり、そして県内の身近な文化遺産を大切にしたいまちづくりをどう進めるべきかが話し合われた。首里城復元技術検討委員長高良倉吉氏、在那覇仏名誉領事ジスラムートン氏、聖心女子大岡橋純子氏、河野氏(前述)、本県建築士会会長金城傑に登壇いただいた。</p> <p>●今後の活動予定</p> <p>歴史的建造物のほとんどを失った本県での歴史まちづくりの意味や方向性を考える企画を進めていく予定。</p>			
地域貢献度	★★★★☆	活動を通じた課題や展望	
建築士会関係度	★★★★★		

